

第 36 回理事会議事録

1. 日時 : 2016 年 10 月 28 日 (金) 午後 6 時 30 分～10 時
2. 場所 : 東京都新宿区四谷 1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者:【理事 10 名】 鳩山勝郎、伊藤直彦、浅越ことみ、ロバート・ゲラー、
齋藤陽子、清水康裕、寺本直志、橋本公二、山田和彦、吉田正
【欠席 2 名】 細田博之、大橋正幸
【監事 2 名】 久保公人、成田秀則
【事務局 4 名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人事務局長代行補佐、
鈴木正人競技会事業部長代行、高野英樹普及事業部長
【オブザーバー 2 名】 宮内宏顧問弁護士、小林淳三四谷 BC 理事長
(理事現在数: 12 名、定足数 7 名、本人出席 10 名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第 1 号議案 第 35 回理事会議事録の承認について
議事録案の記載内容を一部修正し、承認した。

第 2 号議案 公認クラブ申請について
以下の 2 件の公認クラブ新規開設申請について審議の上承認した。

- ・小さい倶楽部 (クラス 2、オープン)
マネージャー: 菊地澄子
ディレクター: 菊地澄子
開催日: 毎週月曜日 10 時～、13 時 15 分～
会場: 緑区文化センターみどりアートパーク (横浜市緑区)
- ・藤の里ブリッジクラブ (クラス 2、クローズド)
マネージャー: 新島三喜男
ディレクター: 新島三喜男
開催日: 毎月 1, 3 月曜日 13 時～
会場: 会員宅 (静岡県藤枝市)

第 3 号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会/センター協議委員会

山田企画/センター協議委員長より以下の説明があった。

四谷 BC の問題については第 4 号議案にて検討を行う。

非会員の競技会参加の扱いについて検討を行い、非会員の競技的有利性の

是正と会員への誘導を目的に、参加制限については現在の制限を維持して、セクショナル以上の競技会に非会員が参加した場合の公認料を1人、1セッションあたり450円高く徴収する。連盟主催競技会については1人1セッション500円追加して参加料を徴収する。

またCCG公認料の下限を新たに設定し1人1セッション100円とする。上記の提案を検討の結果これを承認した。実施は2017年4月からとする。

2. 代表選抜委員会

橋本委員長より第51回APBF選手権日本代表選抜試合の参加申込状況について説明があった。

オープンに参加申込が1チームのため以下のメンバーを日本代表とすることを承認した。

陳大偉、寺本直志、田中陵華、加来浩、古田一雄、横井大樹
代表チームよりNPCとして三浦裕明氏を指名する提案があり、これを承認した。

ウィメンについては以下の2チームの申込があり、全員の代表選抜試合への招待を承認した。

下保俊子、福吉由紀、柳澤彰子、高崎恵、野田祐子、佐藤牧子
塩田淑子、萬木美緒、坂田恵美、立花和子、高坂めぐみ、星維子
第51回APBF選手権シニア部門は各国の参加状況によっては同じ国から2チームの出場ができる可能性があるという説明があり、検討の結果シニアの代表選抜試合の申込が2チーム以上の場合、選抜試合の勝者を第1代表、2位のチームを第2代表として登録する事に決定した。

3. 競技委員会

寺本委員長より10月5日開催の競技委員会の内容について、スクリーンの使用規定がワールドブリッジゲームズから変更になったが、連盟の規定をこれに合わせるかを今後検討すると説明があった。

4. 普及事業部

清水事務局長代行より高野英樹職員が10月1日付で普及事業部長に就任したと報告があった。

高野普及事業部長より「ねんりんぴっく長崎」への体験教室の出展、馬場ビギナーズ特別大会の支援について説明があった。

2017年度ユース育成プロジェクトは今年度より9名多い69名の応募があり、中学1年生4名の登録があったと説明があった。

ジュニアくらぶ、広報関連についての説明があった。

5. 競技会事業部

ゲラー競技会担当理事よりNECブリッジフェスティバルの招待チームの状況報告があった。

BridgeMate の日本での新しい周波数変更申請が行われたと報告があった。連盟主催競技会でのディレクター配置については次世代の人材育成のために事務局の担当をある程度残すこと、プレイヤーの満足する環境作りのため配置を検討することを行うと発言があった。また、現在のナショナルディレクターの報酬が1日3万円となっているが、これを増額するべきと清水理事から提案があり、ディレクターWG で今後検討することになった。鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

6. 国際交流事業部

清水理事よりワールドブリッジゲームズの際に開催された WBF 総会の報告があった。

ワールドブリッジゲームズのキャプテン報告が提出された。

久保監事より JOC 加盟について以下の説明があった。

2018 年アジア大会にブリッジが追加種目となったが、日本代表を派遣するためには JOC の加盟団体になる必要があり、そのためには以下の条件を満たす必要がある。

- ・国内唯一の管轄団体であること
- ・IOC が承認した競技団体であること
- ・財務諸表が完備され、内容に問題がないこと

加盟団体には正加盟団体と準加盟団体がある。この違いは明文化されていないが、オリンピック種目の団体が正加盟団体になっている模様。加盟団体になると文部科学省、日本スポーツ振興センター (toto) から世界選手権派遣、強化合宿、国内での国際大会開催に対する補助金が支給されるため、今後補助の内容の確認と JOC 加盟への活動を進めてゆく。

7. 法人・管理部

9 月末時点の半期の財務状況の報告があった。

来年度予算の検討のために業務執行会議を次回理事会までに開催することに決定した。

8. 人事委員会

齋藤人事委員長より 12 月に定年を迎える大政職員を給与と勤務時間を現状の 70%として 2 年間継続雇用すること、清水職員は今年 1 月から雇用延長を行っており、2017 年 12 月までは現状と同じ条件で雇用延長を行うと説明があった。

第 4 号議案 四谷ブリッジセンター支援について

四谷ブリッジセンター小林淳三理事長が出席し、四谷 BC の経営状態について以下の説明と依頼があった。

過去3年間赤字が続いており今年度上半期も赤字である。1階サロンスペースの返却、ディーリングルームの2階への移動などを行い、支出を抑える努力をしてきたが、このままでは経営が行き詰まる可能性が高い。稼働率の低い地下1階の解約も検討したが、それより前に現在1階で使用している連盟のディーリングルームと会議室を地下1階に移設することで、四谷の負担軽減に協力してもらいたい。

山田企画委員長より四谷BCが地下1階を手放す場合、競技会および普及の拠点を失うことになるため、以下のブリッジセンター支援3原則を守れるなら支援するべきと発言があった。

- 1) 経営に関する情報開示
- 2) 自主的な経営努力の先行
- 3) 他のブリッジセンターとの公平性の担保

検討の結果、次回理事会に四谷BCから経営刷新策の提出を求め、1階から地下1階への移設費用を四谷BCと折半することを条件にディーリングルームと会議室の地下1階への移設の依頼を受け入れることに決定した。小林理事長にはその内容をセンター支援3原則と共に宮内弁護士と清水事務局長代行が伝えることになった。

第5号議案 その他議案

1. 錦糸町ブリッジセンター代表者の免責許可決定確定証明

錦糸町ブリッジセンター代表者の免責許可の決定が9月6日に確定した証明書を入手した。これをもって貸倒引当金と破産更生債権等を相殺すると説明があった。

2. 福岡ブリッジプラザについて

鳩山会長代行より福岡ブリッジプラザの賃借について以下の説明があった。

福岡ブリッジプラザの賃借契約はこれまで貸主と連盟との間で行われてきたが、今回福岡ブリッジプラザと直接契約を行うことになった。

福岡ブリッジプラザの敷金240万円は現在連盟が支払っているが、120万円は連盟からプラザへの貸付金とし、残額の120万円を原状回復費用として支払うことで合意したと説明があり、これを承認した。

3. 次回の理事会開催について

次回理事会は2016年12月16日（金）午後6時30分に開催する。

当日配布書類：第 4 号議案 「企画委員会資料：JCBL による四谷 BC への支援」
「四谷 BC の現状・見通しおよび JCBL によるご協力のお願い」
「競技会事業部活動報告（修正版）」
「Candidates for 2017 NEC Cup Invitation Teams」
「ワールドブリッジゲームズ ミクストチーム報告」
第 5 号議案 「免責許可決定確定証明申請書」

平成 28 年 10 月 28 日（2016 年）

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 36 回理事会

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 久保 公人

監 事 成田 秀則